MEIJO Q&A

理工学部 建築学科

Q 未来の街づくりで大切なことって？

# 地域特有の魅力を再発見することがポイント！

## 地元住民が気づいていない魅力を発見する。

長い年月をかけて形成されたその土地ならではの風土や産業などを、どのように現代社会へ適応させ、継承していくかを研究しています。理論と実践の両方から考えるため、実際にさまざまな場所を訪れ、住民への聞き取り調査や、その土地特有の景観探しを行うなど、地域が持つ魅力を発見するためのフィールドワークを行います。それにより見つけた魅力を地域の方に伝えるとともに、調査結果を活かした地域づくりのお手伝いなどにも関わっていきます。たくさんの人たちと一緒に未来について考えていくことが、とてもおもしろいですね。

## 誰かのためになることが研究の大切なポイント。

研究の一環として、東日本大震災で津波被害を受けた宮城県石巻市桃浦地区において、地域の復興・存続のため、昔から続くこの土地ならではの漁村の暮らしを体験できる宿泊施設である「ももうらビレッジ」の建設や、その前身となる「牡鹿漁師学校」の開催に携わってきました。また、山形県飯豊町では、茅葺屋根や屋敷林が残る民家のある景観をどのように保全していくか、行政とともに研究しています。私は、研究成果は必ず誰かのためになり、その地域にとっての財産となるということを信じて、研究に取り組んでいます。そして、それらの成果を活かし、今後もさまざまな街づくりに貢献していきたいと考えています。

### 佐藤 布武 先生

Nobutake Sato

大学3年のときに東日本大震災が発生。その復興支援で何度も現場へ足を運ぶうちに、建築でできることはなにかを深く考えるようになり、気がつけば研究の道へ進んでいきました。

私の宝物

### 民芸品のコレクション。

雪国では冬場、家から出なくなるので手工芸品などを副業として作っていました。その文化の結晶が民芸品なんです。旅行前にグルメを調べるような感覚で民芸品を調べるのが楽しいですね。